

第3章 望ましい環境像

第1節 望ましい環境像

「望ましい環境像」とは、上里町がこれからどのような環境を目指してこの計画を進めていくかのもっとも基本となる目標です。今後は環境基本計画によって、町民・事業者・行政の三者が連携・協力し、ともに町の環境の保全と創造を図っていかなくてはなりません。そのため、「望ましい環境像」は、町民や事業者のみなさんに対し、上里町が今後どのような環境像を描くのか、わかりやすく、かつ、親しみやすいものである必要があると考えました。

上里町は、神流川、烏川に面し、農地を中心とした多くの緑があふれるまちです。

このような上里町に特徴的な環境を守り育てていくことをまちの環境の将来像とし、「望ましい環境像」は、次のとおりとしました。

緑、空、水を大切に、
自然と共生するまち かみさと

「望ましい環境像」の実現には、さまざまな環境施策の実施が必要です。環境施策は、ここに定める施策の柱となる基本方針のもとに体系化し、実施します。

ここでは、施策の基本方針を次の6つとしました。

1．生活環境の保全

大気、水、土壌、騒音・振動、悪臭、地盤などを健全な状態に保ち、上里町に住む人々の安全で健康かつ文化的な生活の保全を図ります。

2．自然環境の保全

上里町には神流川や烏川の河川沿いに残る貴重な自然環境、屋敷林や社寺林などの身近な林や農地、中小河川や水路などの身近に触れ合うことのできる自然が残っています。これらに生息する野生生物の種の保全等生物の多様性の確保を図るとともに、緑、水辺、農地等の多様な自然環境の保全を図ります。

3．快適環境の保全と創造

豊かな緑や晴れ渡った空の下に遙かに山並みを望むとき、私たちは安らぎを感じます。私たちに潤いと安らぎを与えてくれる快適なまちの創造とともに、良好な景観と歴史・文化遺産の保全を図ります。

4．循環型社会の構築

有限の資源を大切にするためには、これまでの「大量生産、大量消費、大量廃棄」の生活を改める必要があります。資源及びエネルギーの有効かつ循環的な利用と廃棄物の減量を推進し、循環型社会の構築を図ります。

5．地球環境の保全

地球の温暖化、オゾン層の破壊等の人類共通の課題である地球環境問題の解決に向け、事業活動や日常生活上の活動全般を環境への負荷の少ないものに改め、地球環境の保全を図ります。

6．環境保全活動の推進

まちの環境の保全と創造を図るためには、町民、事業者、行政のすべての主体の参加と協力がが必要です。すべての主体の自主的かつ積極的な取組の促進と協働の推進を図ります。